令和６年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
外国語	英語コミュニケーションⅠ（習熟）	２	１－Ａ

１．学習の到達目標

・英語の「ことばの使い方のルール」を習得し、英語を正しく聞いたり、読んだり、話したり、書いたりすることができるようになる。
・各講座に分かれての習熟度別授業で、テキストやワークの練習問題を通じて様々な英語に触れる。
・英単語や英文の並べ替え問題の確認テストを通して、基礎学力の徹底を図る。
・授業を通して、人権問題等を考える機会を持つ。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	２．be 動詞 ３．一般動詞の現在形 ４．動詞の過去形 ７．命令文・感嘆文 ９．進行形 １０．未来表現 １３．助動詞	＊be 動詞の使い方を理解する ＊現在時制、過去時制の動詞の変化を覚え、疑問文や否定文を作ることができる ＊いろいろな種類の命令文や感嘆文を理解する ＊進行形の形と意味を理解する ＊未来表現の形を覚え、英作文できる ＊助動詞の種類と意味を覚え、英作文できる
２学期	１１．疑問詞（１） １２．疑問詞（２） １４．不定詞（１） １５．不定詞（２） １７．動名詞 １９．比較 ２３．受け身	＊様々な疑問詞を覚え、疑問文を作ることができる ＊不定詞の３つの用法と不定詞を使った重要表現を覚え、英作文できる ＊不定詞と動名詞の違いを理解する ＊形容詞・副詞の原級、比較級、最上級の形を覚え、様々な比較表現を使った英文を理解する ＊受け身の用法を覚え、英作文できる
３学期	２５．現在完了（１） ２６．現在完了（２） ２７．現在分詞 ２８．過去分詞 ２９．関係代名詞（１） ３０．関係代名詞（２） ３３．仮定法	＊現在完了の用法と表現を覚え、理解する ＊修飾語句としての現在分詞・過去分詞の用法を理解する ＊主格と目的格の関係代名詞の文を理解する ＊簡単な仮定法の仕組みを理解し、併せて時制表現についても理解を深める

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期考査、提出物、授業態度などの総合評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	語彙・表現・文法などの働きを理解し、実際の場面に応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	英語でのコミュニケーションに関心を持ち、相手とのやり取りや即興性を意識した表現能力を養う。	英語学習を通じてことばの背景にあるものの考え方を意識しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	Reach for the Big Dipper（数研出版）
副　教　材	辞書は友達ワークブック（学研） 英和辞典ニューヴィクトリーアンカー（学研） チャート式 LEARNER’S　高校英語　（数研出版）